

# ICT活用レポート！（授業編）

## 第（5）学年（理）科

### 単元名「生命のつながり（3）植物の実や種子のでき方」での実践

項目	内容	
ICT活用の場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受粉時期の予想の共有化</li> <li>・受粉時期を調べる</li> <li>・個人で調べたことをグループで情報交換する</li> </ul>	
使用したICT機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スカイメニューのポジショニング機能</li> <li>・スカイメニューの発表ノート</li> <li>・スカイメニューのグループワーク機能</li> </ul>	
具体的な方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受粉時期の予想をポジショニング機能を活用して共有化する。その際、理由にも着目し、キーワードを板書しておく。</li> <li>・4つの時期のアサガオの花が必要数集められないと予想されるため、発表ノートに貼り付けてある画像を基に調べる。</li> <li>・グループワーク機能を使ってお互いの発表ノートを見せ合い、考えの根拠を明らかにしながら情報交換を行う。</li> </ul>	
成果と課題	○成果	△課題
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の予想をポジショニングで見える化することはとても効果的であり、焦点化しやすい。</li> <li>・実際に花の観察ができなくても、写真を大きくすることで、詳しい部分まで観察できる。また、発表ノートに写真を貼って配付することで、自分の考えや考えの根拠となる部分への書き込みができ、それをもとにグループでの話し合いを進められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師がタブレットの操作に慣れていないため、児童が書き込んだことを上手く取り上げて全体に広げることができなかった。</li> </ul>
感想や改善策	<p>・ポジショニングは、児童の思考の見える化、そして課題への焦点化ができるので今後も活用していきたい。今回の授業で実物を使っての実験が難しい場合、画像を使って実験しても粘り強く問題解決に向かい、科学的な見方が養えることが分かった。しかし、画像を使っても最終的には実物の操作に返す、本物に触れるという活動は今後も大切にしていきたい。</p>	